

世界最高品質の新樹脂素材「トライタン」 にデザイン性を付与、新たな市場開拓

昭和22年に創業し、木製の山中漆器を製造していたが、後に樹脂製漆器の製造に転換した。現在は、樹脂製漆器だけでなく、外食用食器、仏具等様々な分野でのプラスチック製品を製造している。

近年は、これまで培ってきた樹脂成型技術を活用し、炭素繊維関連の事業にも取り組んでいる。使い捨てプラスチックを減らす動きが世界中に広がっている中、トライタン製食器は永く使用できるプラスチック製食器として新しい価値を見出している。

- 所在地 石川県加賀市宇谷町タ1-8
- 電話/FAX 0761-77-4556/0761-77-4629
- URL <http://www.ishikawajyushi.net/>
- 代表者 代表取締役 石川 章

- 設立 1947年
- 資本金 4,800万円
- 従業員数 105人



ガラスに替わる食器やガラスの使用が困難な市場での需要獲得

プラスチック製食器の国内市場では高いシェアを有している。2018年から海外展開にも注力しており、アメリカやアジアを中心に、ガラスに替わる取扱いやすい食器需要のほか、ビーチリゾートやアウトドア等、これまでガラス食器の使用が難しかった海外市場での需要獲得を狙う。

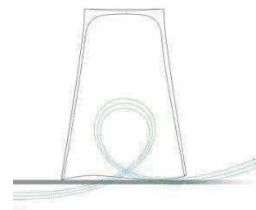
具体的には、バリ島で開かれた展示会に出展し受注を獲得する等、世界市場でのマーケティング調査、展示会出展等を行い、取引先の開拓を行っており、5年後には海外のみで2.5億円の売上げを目指す。(現在は1,500万円)



ガラスの利用が困難なアウトドアに

地元デザイナーを起用した商品開発や地元ホテルで製品の採用

世界最高レベルの品質の「トライタン」に付加価値を付けるため、地元デザイナーのsecca inc.を起用し、機能性・デザイン性に富んだ「ゆらぎタンブラー」を製品化した。取扱いの容易さ、高い耐久性、デザイン性が評価され、開業が相次ぐ地元のホテルに採用されている。海外展開においては、経済産業省の「ふるさと名物応援事業」や石川県「ニッチトップ企業海外展開支援事業」、「県外需要を取り込む元気なものづくり中小企業育成支援事業」に採択される等、自治体等と連携を進めている。



機能性・デザイン性の高い製品

機能性とデザイン性がある商品開発と手作業による最終仕上げ

「ゆらぎタンブラー」は、飲み口を波状(口元のゆらぎ)にすることで、逆さまに置いた時に、空気の通り道を作り、乾きやすく、水分がこもらないように設計。さらに、外側は円にも関わらず内側は大きな三角形にすることで、重ねても完全に密閉しない構造となっており衛生面に配慮している。また、口元はより滑らかに仕上げるために、後工程に手仕上げを行っている。

海外需要については、海外のマーケティング調査を行い、今後、海外の顧客ニーズにあったデザインを新たに開発する予定である。



飲み口を波状にした「ゆらぎタンブラー」